

# 早くも稲刈り

静岡県浜松市・京丸園

## 新米で夏も元気に

静岡県浜松市南区の京丸園 会長鈴木啓之さん（84）は「県内で一番早く収穫する」ことを目的に、JAとぴあ浜松の営農アドバイザーや同県西部農林事務所の職員と連携し、約24㍍の水田で栽培した。ア

イガモ農法で安全・安心な米作りにつながった。

早場米の栽培は3回目。

梅雨が長く続き、日照不足で生育がやや遅れ気味となったが、ほぼ計画通りに収穫した。鈴木会長自らコンバインを操縦した。

同会長は「夏の暑い時期に新米を食べて力をつけたいという思いから栽培している。消費者に食べてもらい、夏を元気に過ごしてもらえるところがいい」と話した。

同JA南営農センターの牧野公一センター長は「日照不足の中、順調に実らせただけは、真心込めた栽培管理と高い栽培技術だと思う」と話した。

収穫した米は、同JAフアーマーズマーケット東店、白脇店、三方原店で販売する。

（静岡・とぴあ浜松）



稲刈りをする鈴木会長